

奈良新聞

NARA NEWS PAPER
 〒630-8686 奈良市法華寺町2番地4 電話(0742)32-1000(代)
 発行所 奈良新聞社 ©奈良新聞社 2024

本社(ダイヤルイン)	0742-	中南和支社
総務課・経理課	32-2111	0744-34-1221(代)
営業課	32-2112	
編集部	32-2113	東京支社
販売課・シニア事務局	32-2114	03-6811-2860(代)
出版	32-2117	
ならリビング課	32-2118	

www.nara-np.co.jp

古着とワクチン送付 有料回収袋を資金に

古着を有料の袋に詰めて回収し、途上国にポリオ(小児まひ)ワクチンを届け「古着eワクチン」事業を2010年から進めている。海外でリユース業を展開する中で、ワクチンがな

ごみとして捨てることもできるとして、始めた当初は回収袋を有料で買ったことに抵抗を示す人が多かった。だ

が、環境保護や社会貢献に対する関心の高まりを背景に、現在は毎月約2万5千袋の利用がある。

を2010年から進めている。海外でリユース業を展開する中で、ワクチンがなればかりに多くの子どもが命を落とす現状を目の当たりにしたのがきっかけだ。サービス利用者は、30銭まで入る専用の回収袋を1袋3300円で購入し、古着を詰めて送る。1袋売れるごとに5人分のポリオワクチンをミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツに寄付している。これまでに累計約650万人分を超え



インタビューに答える日本リユースシステムの営業本部長・辻本真子さん

回収袋の利用者はお金を払って衣類を手放すため、袋の中に汚れた衣類が入っていることは驚くほど少ない。誰かに大切に使用してほしいとの思いが強く感じられる。

回収した古着はカンボジアの直営店に送り、衣類を種類ごとに細かく選別する。直営店のスタッフの多くは、ポリオの後遺症で手足が不自由になった現地の人たちだ。1着5円で販売するほか、先進国も含め世界の30カ国に再輸出して有効活用している。

衣類を手放す際、ワクチン支援で国際貢献できるといふ選択肢を多くの人に知ってもらいたい。

× × ×

つじもと・まこ 1988年京都府生まれ。2021年11月から国内でリサイクルを展開する「日本リユースシステム」で営業本部長として事業を統括。